

居合道たより 24号



居合道ながさき



水晶の念珠つめたき 大暑かな (日野草城)「大暑」(たいしょ)

緊急事態宣言が発令される中、東京ではオリンピックが開催されています。コロナ感染対策を考慮しながらの開催では大会関係者や医療従事者の苦労は大変なものだと思います。そのような状況においての日本人選手の活躍には感動するばかりです。是非、無事に大会が終わることができることを祈りたいものです。大暑とは、7月23日頃を言います。次の節気である「立秋(りっしゅう)」(例年8月7日または8日頃)までの期間も同様に大暑と呼ばれます。大暑とは文字通り一年中で最も暑さが厳しくなる頃。



写真：ひまわり

連日の暑さで大変な時ですが、花火大会や盆踊り、お祭りなど、楽しい夏の行事が行なわれる時期でもあります。夏バテしないように「天ぷら」を食べ、夏の土用に「鰻」を食べる風習もあります。この時期の花と言えば、太陽の花である「向日葵(ひまわり)」その他に「日輪草(にちりんそう)」「天竺葵(てんじくあおい)」「日車(ひぐるま)」などの別名があり、まさに夏を代表する生命力にあふれた花です。夏の暑さを表す言葉として、他にも「酷暑」「炎暑」「極暑」「猛暑」などがあります。気象用語として、最高気温が25度以上の日を表した「夏日」30度以上の「真夏日」35度以上の「猛暑日」と言われています。

報告(1)・第51回長崎県居合道段別選手権大会

(一財)長崎県剣道連盟主催、長崎新聞社後援の標記大会が令和3年5月16日(日)午前10:00より諫早市小野体育館において開催されました。段外から七段までの段別選手権ではコロナ禍の中、出場できない18名を除き県内から居合道剣士40名が選手権大会及び個人演武に出場し、各段において熱戦が繰り広げられました。七段の部・平 禮道(口之津健武会・南島原市)・六段の部、岩男徹史(平戸厚海会・平戸市)・五段の部、畑中健佑(遊道会・長崎市)が優勝しました。令和3年10月9日(土)に東京都武道館において第56回都道府県対抗全日本居合道大会が開催されます。全日本居合道大会は県大会の五段、六段、七段の上位入賞者から長崎県代表として日本一を目指して強化練習等で選考されます。



上位入賞者集合写真

七段の部優勝

平 禮道(口之津)



新型コロナウイルス感染
拡大対策の審判

段外の部優勝
藤安美晴(剣倫会)

個人演武
居合道教士七段 高木志伸

第51回長崎県居合道段別選手権大会結果

| 段 位 | 優 勝 | 準優勝 | 三 位 |
|-------------------------------|------------|------------|------------|
| 段外 | 藤安 美晴(剣倫会) | 藤安 穂乃(剣倫会) | 橋本 新(剣倫会) |
| 初段 | 井上 義崇(生武館) | | |
| 二段 | 中村 竜一(葉遊会) | 山本 茂夫(友弼会) | |
| 三段 | 天野 秀明(遊道会) | 川下 浩一(遊道会) | |
| 四段 | 中村 政樹(修道塾) | 吉嶺みゆき(生武館) | 井手伝次郎(生武館) |
| 五段 | 畑中 健佑(遊道会) | 宮崎フサ子(友弼会) | 田口 春男(生武館) |
| 六段 | 岩男 徹史(厚海会) | 竹本 剛(生武館) | 入江 紀弥(友弼会) |
| 七段 | 平 禮道(健武会) | 中村 武文(健武会) | 宮崎 大輔(友弼会) |
| 奨励賞 中村知美 (剣倫会)、宮崎優奈(剣倫会) | | | |
| 演武賞 小林保彦 (尚武会)、特別賞 岩永慎一郎(遊道会) | | | |

報告(2)・第56回都道府県対抗全日本居合道大会強化稽古

令和3年10月9日(土)に東京都武道館において第56回都道府県対抗全日本居合道大会が開催されます。全日本居合道大会は県大会の五段、六段、七段の上位入賞者から長崎県代表として日本一を目指して強化稽古等で選考されます。強化稽古は本大会まで佐世保工業高校同窓会記念館を中心に本大会まで10回予定しています。大会の趣旨は全日本剣道連盟居合の普及振興を図ると共に、古流を伝承するため、各都道府県剣道連盟の代表選手により優勝試合を行い、居合道の技術の向上を図るものです。さらに個人演武者の参加も加え、日頃の修練を披露すると共に、参加者相互の親睦を深め、もって斯道のより一層の発展を期するものです。五段、六段、七段の都道府県代表選手がトーナメント方式で古流2本(自由技)、全日本剣道連盟居合3本(指定技)の計5本の技で対戦し、各段の個人のポイント合計が団体の総合成績で戦います。

報告(3)・令和3年度全剣連居合道中央講習会・西日本地区講習会

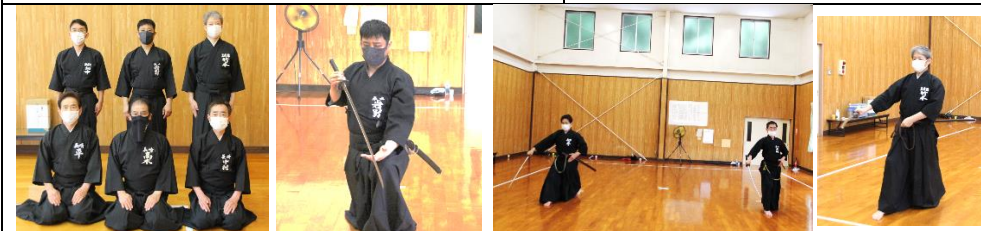
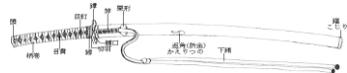


標記講習会が令和3年6月26日(土)、27日(日)にコロナ禍の中、西日本の各府県から居合道剣士が大分県の昭和電工武道スポーツセンターにおいて関係者を含め六段から八段まで約170名の参加で開催されました。

中央講習会受講者 教士七段 高木志伸 教士七段 平 禮道
 講師：(一財)全日本剣道連盟居合道委員長：草間純市 全剣連審議員：小倉 昇
 居合道委員：小田原隆義、中村正人、横田清隆、佐藤四十一

- 6月26日(土) 1日目
 中谷行道専務理事より居合道、剣道に関するコンプライアンス、ガバナンスの講話がありました。その後全日本剣道連盟居合を講師の草間純市範士及び佐藤四十一範士より、受講者全体に解説及び説明がありました。その後グループに分かれての全日本剣道連盟居合の実技講習が詳細にありました。
- 6月27日(日) 2日目
 10月9日(土)コロナ禍の中での東京都で開催される全日本居合道大会に向けて、審判講習会を講義と実技を講師の草間純市範士及び中村正人範士の丁寧な説明がありました。
 講習会最後には古流研究会を大分県に伝わる関口流や西日本地区の田宮流、夢想神伝流、無外流、無双直伝流など多くの古流をたっぷりと見学ができました。
 とても素晴らしい講習会になったことを感謝します。大分県をはじめ関係者の皆さんにご苦労に感謝いたします。

<強化選手> 監督 高木志伸(居合道部長)
 五段 畑中健佑(遊道会)、宮崎フサ子(友剣会)
 六段 岩男徹史(平戸厚海会)、竹本 剛(生武館)
 七段 平 禮道(口之津)、中村 武文(口之津)



強化選手集合写真 六段 岩男徹史 七段強化選手の模擬試合 六段 竹本剛

<<今話題の「妄想居合道漫画サヤノウチ」志村雄基氏>> イラスト集

